

(案)

# 青少年の健全な育成・支援に関する調査・検討事項の概要 ～体験活動の現状と活動促進のための方策等の検討～

## 1 目的

青少年の豊かな社会性や規範意識を育む体験活動を促進するため、行政・民間等において実施されている体験活動の状況や参加者の意識等を調査するとともに、今後の地域における体験活動促進のための方策の検討を行う。

## 2 調査事項

【実施時期 平成 25 年 10 月～26 年 2 月頃】

### (1) 児童・生徒を対象とした体験活動の現況調査

県や市町村及び民間団体、企業等で行われている体験活動の状況を調査する。

### (2) 児童・生徒の体験活動の参加状況等調査

児童・生徒の学校外での体験活動の参加状況や意識等のアンケート調査を行う。

#### 対 象

①小学校高学年（1000 人）②その保護者（1000 人）③中学 2 年生（1000 人）

#### 調査方法

人口比により地域（東・西・南・北・秩父地域）ごとに調査数を定め、学級を単位としてアンケート調査を実施する。

#### 主な調査項目

- ・ 学校外の体験活動の参加状況
- ・ 体験活動の情報入手先
- ・ 参加動機と効果の認識
- ・ 参加阻害要因
- ・ 今後の参加意向
- ・ 地域への愛着度と自尊感情
- ・ 地域活動の参加状況

### (3) 活動団体等の意向等調査

民間団体等の現況や意向等に関するアンケート・ヒアリング調査を行う。

#### 対 象

先進的・特徴的な活動を行っている民間団体・企業等

#### 調査方法

アンケート及びヒアリング調査

#### 主な調査項目

- ・ 活動の実施状況
- ・ 実施上の課題
- ・ 必要とする支援
- ・ 今後の意向（新たな活動等）
- ・ 地域での体験活動に関する認識・意見

## 3 検討事項

【実施時期 平成 26 年 3 月頃～】

上記調査結果及び国や研究機関等の各種調査結果を踏まえて、地域における体験活動促進の方向性や支援策等を検討する。

(検討例)

- ・ 体験活動への参加促進のための効果的な方策等
- ・ 体験活動に参加しにくい児童・生徒への支援方策等
- ・ 行政・民間団体等の連携した体験活動の促進策等
- ・ 地域活動の促進と発達段階に応じた系統的な体験活動の実施策